

第21期（2019年度）事業計画（報告）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、熊本地震、西日本豪雨災害などでの活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス（青森県八戸高等専門学校、青森県弘前大学、など）のネットワーク団体と情報交換しながら、交流イベント支援や子どもとの交流事業など、被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたい。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催での交流イベントや学習・遊び支援活動の継続を行いたい。また、南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「笑顔プラス」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に、加えて今年度も「健康と防災(災害)」をテーマに「ウォーキング」を中心にした事業や、西宮市や西宮市社会福祉協議会と連携して「災害ボランティアセンター運営訓練」や「災害ボランティア養成講座」などの事業を充実させていきたい。また、昨年8月に協定を締結した大阪大学とは、昨年発生した大阪北部地震に関連した様々な取り組みに関わっていけたらと考えている。中でも、学生主体で立ち上がった「すいすい吹田」というグループと一緒に、吹田市内のコミュニティづくりの活動を計画之中である。また、来年1月には阪神・淡路大震災から25年（NPO法人化20年）に合わせて、記念事業を検討していければと思う。そして、財源確保については、秋から始まる予定の休眠預金や助成金申請、寄付金募集などを行っていきたい。尚、将来を担ってもらえる若手人材の発掘と養成にも引き続き取り組んでいきたいと思っている。

I. 災害救援の活動

1. 災害救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震・九州北部豪雨災害の支援活動

(4) 西日本豪雨災害の支援活動

II. 次の災害に備えるための防災（広報・啓発等）の活動

1. 地域防災活動

- (1) 子ども防災クラブ
- (2) 親子防災事業（防災イベント、防災料理教室）など

2. 防災意識高揚のための取り組み

- (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
- (2) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（J ネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡協議会（兵庫県）
- (4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画・・・収益（事業、会費、寄付など）を高めるために

- (1) 学生出前カフェの実施（阪大との協定事業）
- (2) 防災 IT 事業(阪大もん)の実施（NPO 法人北いわて未来ラボ&阪大）
- (3) 防災ウォーキングイベントの協力（西宮コミュニティ協会）
- (4) 自治会単位での地区防災計画の企画（防災、福祉、コミュニティの課と連携する）
- (5) 震災25周年事業（NPO 法人認証20年）
- (6) 寄付や助成金獲得について検討会(休眠預金やファントレジン^gなど)
- (7) 若手育成プロジェクト（次世代のリーダー育成） など

Ⅲ. 今年度末の災害救援準備金残高 1,000千円

（災害救援準備金の取り扱い細則）

- (1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。
- (2) その内、500千円は、近畿ろうきんの寄付制度「すまいる」より、近畿圏内での災害支援活動の費用として積み立てを行う。